

## 評価シート 様式

取組名	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト		
実施団体名	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会	対象地域	栃木県日光市・福島県南会津町・福島県下郷町・福島県会津若松市
(代表団体名)	日光市、南会津町、下郷町、会津若松市	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト		
実施団体名	日光～会津観光軸元気再生プロジェクト協議会	対象地域	栃木県日光市・福島県南会津町・福島県下郷町・福島県会津若松市
(代表団体名)	日光市、南会津町、下郷町、会津若松市	推薦団体名	

⑤ 総合 評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、地方公共団体と民間企業等が連携して、観光地を軸でとらえて交流性を高めるという点で地域への波及効果を有する取組であると評価できる。地方の元気再生事業として支援を行うことにより本格展開に向けた継続的な取組が期待できる。
	次年度以降については、平成22年度以降の具体的な展開について検討を進め、各取組の深化を図る必要がある。特に、観光軸の形成を平成22年度以降継続的に進めていく上で中核となる組織づくりをどのように進め、かつ、関係主体が個々の取組ごとにどのように連携するかが課題であるため、各観光事業者や交通事業者間の連携を強化するとともに、支援対象となる事業を重点化する等の改善を行った上で、事業の本格展開に向け、以下の視点を踏まえた取組を実施すべきである。
	具体的には、取組①「フリー切符の開発」については、民間企業が主体となって連携する取組であることに留意する。取組④「手ぶら街中サービス拡充事業」については、会津若松市ですでに実施しているものをこの地域でも実施するものであり、地方の元気再生事業ではなく、地域で独自に取り組むべきである。